

# レディファーストは差別なのか親切なのか

—女性に対する好意的性差別への評価—

○福留広大<sup>1</sup>・森永康子<sup>2</sup>・清末有紀<sup>2</sup>

(聖カタリナ大学<sup>1</sup>・広島大学<sup>2</sup>)

レディファーストと称される行動は、社会心理学的には好意的性差別 (benevolent sexism: 以下 BS とする) とされ、男女格差の維持に貢献するものと見做される。しかし、差別であると説明したところで、一般に受け入れられるだろうか。「BS は性差別」に対する最もありがちな反論は、親切で行われる場合もあるので一概に差別であるとは言えない、という主張だろう。そこで本研究では、個人間でやり取りされる具体的行動 (BS 行動) と BS 尺度にあるような性別集団を想定した抽象的な規範 (BS 規範) について、親切と思うか差別と思うかを尋ね、BS に対する認識を明らかにすることを目的とした。BS 行動については、男性を行為者、女性を受動者として評価を求める。

## 方法

**参加者** 調査会社 (クロスマーケティング社) に委託し (2023 年 10 月)、20 歳から 69 歳の男女 300 名の参加者を得た ( $M = 44.8, SD = 14.1$ )。

**質問紙構成** BS 行動に関する 6 項目 (e.g., 男性参加者の場合: 職場のエレベーターで、同僚の女性が先に乗り降りできるように、自分がドアを押さえた。女性参加者の場合: 職場のエレベーターで、わたしが先に乗り降りできるように、同僚の男性がドアを押さえた) について、「そのときのあなたの気持ちは? (1: 嫌な気分~5: いい気分)」、「この行動を親切だと思いますか? (1: まったくそう思わない~5: 非常にそう思う)」、「この行動を差別だと思いますか? (1: まったくそう思わない~5: 非常にそう思う)」を尋ねた。また、BS 規範に関する 5 項目 (e.g., 女性には家庭責任があるので、あまり責任の重い仕事を任せるのは気の毒だ) について「あなたの考えは? (1: 非常に反対~5: 非常に賛成)」と尋ね、その後行動項目と同様に、親切だと思うか差別だと思うか尋ねた。選択肢の中央値は「どちらともいえない」である。

## 結果

各 BS 項目について平均値を算出し、親切と差別の関係について、項目と性別ごとに図示した (Figure 1)。図中 q1 は項目番号 1 を意味する。その結果、親切と差別の評価の間に傾きが負の精

度の高い回帰直線を得た。BS 行動項目は差別的でないとして評価され、女性はすべての BS 行動項目で男性よりも差別的でないとして評価した。他方、BS 規範項目は男女ともに (特に女性の方が) 差別的で親切でないとして評価する傾向にあり、女性回答者の項目 4 (女性には、大変な仕事は回さない方がよい)、項目 5 (女性の仕事に対する評価は男性に比べて寛容であるべきだ) は、BS 項目で最も差別的とされた。しかし、項目 2 (力仕事は女性に代わって男性が行った方がよい) は差別的でなく親切な位置にあった。親切・差別評価別に因子分析した結果、BS 行動と BS 規範の 2 因子を得たが、BS 規範を想定した q2 は BS 行動因子となった。これを基に作成した 4 合成変数 ( $.77 < \alpha_s$ ) について、性別×BS 型 (行動, 規範) × 評価 (親切, 差別) の 3 要因分散分析の結果、2 次の交互作用、全ての単純交互作用と単純・単純主効果が有意で、Figure 1 について述べた傾向と整合していた。

## 考察

BS 項目に対する親切と差別の評価は負の関係にあり差別的であるほど親切でないという強い関係にあった。女性は BS 行動を受動者として差別的でなく親切と認識する一方、BS 規範は差別的で親切でないとして認識する傾向にあった。個人の経験レベルと集団レベルで BS の認識が異なるのはなぜか検討する必要がある。(科研費 21K02978)

